

# もうすぐ春…

1月の半ば。とても寒い時期。

でも、もうすぐ立春。



4年生の学習園ではアブラナがすくすく育っています。春には黄色い花をたくさん咲かせることでしょう。



寒咲水仙です。

学習園では、春を待ち続ける草花と、今まさに花盛りの草花とが見られます。



秋の七草の  
フジバカマです。  
たくさんの実を  
つけています。



マコモは地下茎で冬  
を越します。  
春になれば新しい芽  
が出てくるはずで  
す。



サトザクラの枝先に  
は冬芽がしっかりと  
ついています。  
この中には、春に  
なって咲く、花のも  
とや葉のもとが入っ  
ています。

このように植物たちは、寒さに耐えながら少しづつ緑の葉を広げて冬を越すもの、種子を含む実をたくさんつけて冬を越すもの、地下茎で冬を越すもの、秋に葉を落とすものの寒さから守られた冬芽で冬を越すものなど、さまざまな姿で冬を越します。



クスノキの太い枝に  
丸いものがついてい  
ます。

これは、ヒロヘリアオイラガの繭と思われます。中にサナギが入っています。

餌となる植物や小さな昆虫などが見られない冬の間、餌を必要としない卵やサナギの姿で冬を越す昆虫は多く見られます。

さて、この記事を書いている今日は2月7日で立春をすぎて4日めです。

(※ 今年の立春は地球の公転周期の関係で2月3日でした。)

寒さに震える日があるものの、日差しには優しさが感じられるこの頃。

生き物たちの暮らしには春がやってきているようです。

春を見つけてみましょう。